

2023年12月期・2024年3月期

IFRSの決算対策

第1章

保険契約、グローバル・ミニマム課税など
強制適用・早期適用可能な
基準の概要

第2章

リースの定義、仲介者からの未収保険料
IFRS解釈指針委員会の
アジェンダ決定の概要

第3章

高インフレ・高金利、気候関連リスク等
今期決算で特に留意したい
実務論点

宮治 哲司 (PwC Japan有限責任監査法人 公認会計士)
梅谷 正樹 (PwC Japan有限責任監査法人 公認会計士)

2023年12月期・2024年3月期におけるIFRS適用会社の決算対策をお届けする。
今期は、IFRS17号「保険契約」やIAS12号「法人所得税」などが強制適用されるため、
その影響について把握する必要がある。また、2023年も世界的な高インフレおよび高
金利の影響が継続しており、気候関連リスク等とともに注意が必要である。
本特集では、これらの留意点について解説していただいた。実務の参考にしていただ
きたい。